

EPSON

2023年度(2024年3月期) 第3四半期 決算説明会

2024年 2月 2日
セイコーエプソン株式会社

■ 第3四半期実績

- プリンティングソリューションズがオフィス・ホームIJPのインク販売増加や商業・産業IJPの販売伸長に加え、輸送費などの製造コスト減少により大幅な増益となったものの、マイクロデバイスが市場の在庫調整影響を受け大幅な減益となり、連結合計で売上収益、事業利益は減収減益

■ 2023年度 通期業績予想

- 世界経済の停滞影響を踏まえ、売上収益は300億円の下方修正(1兆3,300億円)
- 一層の費用抑制を進めるものの、事業利益は50億円の下方修正(750億円)
- その他の営業費用に英国現地法人の年金バイアウトに向けた関連費用約50億円を見込む

- 本日のご説明のポイントはご覧の通りです。
- 第3四半期は、
プリンティングソリューションズがオフィス・ホームIJPのインク販売増加や商業・産業IJPの販売伸長に加え、輸送費などの製造コスト減少により大幅な増益となったものの、マイクロデバイスが市場の在庫調整影響を受け大幅な減益となり、連結合計で売上収益、事業利益は減収減益となりました。
- 2023年度の通期業績予想は、
世界経済の停滞影響を踏まえ一層の費用抑制を進めるものの、
売上収益は 300億円、事業利益は 50億円下方修正します。
- また、その他の営業費用に英国現地法人の年金バイアウトに向けた関連費用約50億円の計上を見込みます。

- 第3四半期実績
- 2023年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

	2022年度		2023年度		対前年同期	
	Q3実績	%	Q3実績	%	増減額	増減率
売上収益 (億円)	3,612		3,535		-77	-2.1%
事業利益	312	8.6%	298	8.5%	-13	-4.3%
営業利益	233	6.5%	237	6.7%	+3	+1.6%
税引前利益	165	4.6%	212	6.0%	+47	+28.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	110	3.1%	149	4.2%	+39	+35.5%
EPS ^{*1} (円)	32.76		45.20			
為替レート (円、指数)	USD	¥141.55	¥147.78			
	EUR	¥144.23	¥158.98			
	その他通貨 ^{*2}	100	108			

■ 営業利益・税引前利益
 ・前年同期に対して為替差損(その他の営業費用、金融費用)が減少したことにより増益

*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益
 *2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	総計
売上収益	+45	+60	+61	+168
事業利益	-5	+39	+38	+72

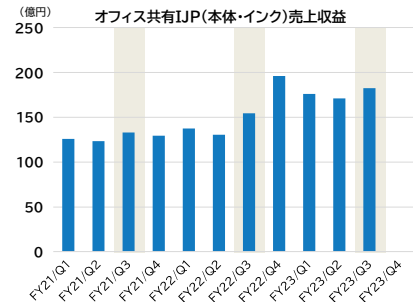
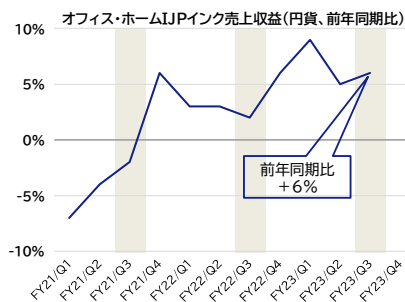
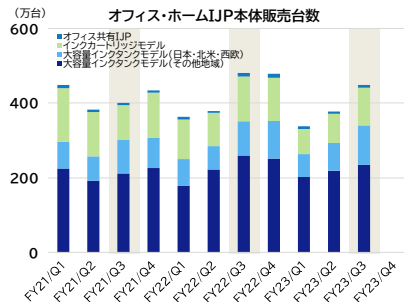
- 第3四半期の実績についてご説明します。
- 前年同期に対して、売上収益は 77億円減収の 3,535億円となりました。事業利益は減収影響などにより 13億円減益の 298億円となりました。
- 四半期利益は、前年同期に対して為替差損が減少したことにより、39億円増益の 149億円となりました。
- 前回予想の前提となる社内計画に対しては、ビジュアルコミュニケーションが軟調な中国市場の影響を受けたことや、マイクロデバイスの販売未達などにより、売上収益は約150億円、事業利益は約20億円の未達となりました。

プリンティングソリューションズ		2022年度Q3実績		2023年度Q3実績		増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	2,490	2,510	+19	+124	+0.8%			
セグメント利益	273	369	+96	+52	+35.4%			
セグメント利益率	11.0%	14.7%						

オフィス・ホームプリンティング		2022年度Q3実績		2023年度Q3実績		増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	1,844	1,819	-24	+91	-1.3%			
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP) ^{*1}	1,499	1,461	-37		-2.5%			
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP) ^{*2}	154	182	+27		+18.1%			
その他 ^{*3}	190	175	-15		-8.1%			
事業利益	173	237	+64	+34	+37.4%			
事業利益率	9.4%	13.1%						

- オフィス・ホームプリンティング
 - ・ IJP本体売上は-4%(現地通貨ベース-9%)。供給制約解消が進んだ前年同期に対し、インクカートリッジモデルの販売減少
 - ・ IJPインク売上は、大容量インクタンクモデル、オフィス共有IJP本体の市場稼働台数増加により、+6%(現地通貨ベース+1%)
 - ・ 海運運賃の改定効果による輸送費の減少や、インク売上の増加などにより、大幅な増益

*1:ICモデル-大容量インクタンクモデル本体、インクなど *2:オフィス用IJCモデル-RIPS-LJ本体、インクなど *3:スキナー、SIDM、LP、卧式オフィス縦紙機など

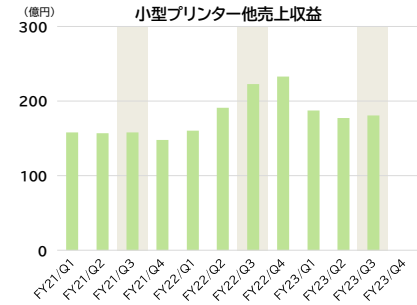
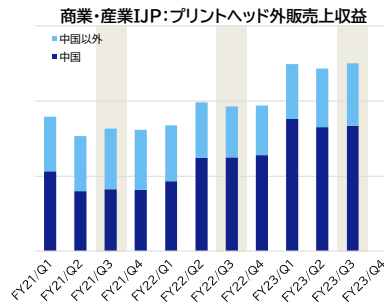
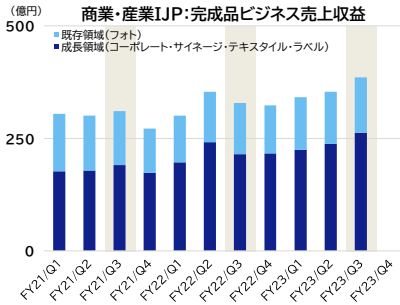


- プリンティングソリューションズの実績はご覧のとおりです。
- 売上収益は前年同期並みの 2,510億円、セグメント利益は 96億円増益の 369億円となりました。
- オフィス・ホームプリンティングの売上収益は、前年同期並みとなりました。
- IJP本体の売上収益は、供給制約の解消が進んだ前年同期に対して、インクカートリッジモデルの販売数量減少などにより、減収となりました。
- 左のグラフの通り、大容量インクタンクモデルの販売数量は、中国経済の停滞影響などにより新興国向けで減少したものの、認知度の向上などにより先進国向けが増加し、概ね前年同期並みとなりました。
- 中央のグラフで示しているIJPインクの売上収益は、本体の市場稼働台数増加により大容量インクボトルとオフィス共有IJPのインクが増加したことに加え、為替影響により 6%の増収となりました。
- なお、右のグラフの通り、オフィス共有IJPの売上収益は、インク販売の増加に加え、中速帯モデルの投入効果もあり、増収となりました。
- オフィス・ホームプリンティングの事業利益は、海運運賃の改定効果による輸送費の減少や、インク売上の増加などにより、大幅な増益となりました。
- なお社内計画に対しては、SOHO・ホームIJPの本体販売数量は未達となったものの、販売価格が計画を上回って推移した結果、売上収益は計画並みとなりました。事業利益は、インク売上の伸長や費用の抑制により、計画を上回りました。

商業・産業プリンティング	(億円)				
	2022年度Q3 実績	2023年度Q3 実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	646	691	+44	+32	+6.9%
商業・産業IJP	424	510	+86		+20.3%
小型プリンター他	222	180	-41		-18.7%
事業利益	100	131	+31	+17	+31.8%
事業利益率	15.5%	19.1%			

■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業IJP完成品は、ラインアップ拡大効果や印刷需要の回復などにより、コーポレートやサイネージ、ラベルなど成長領域を中心に増収
- プリントヘッド外販は、新興国向けを中心に輸出も手掛ける中国の印刷機メーカーへの販売が順調に拡大
- 小型プリンター他は、供給制約解消が進んだ前年同期に対し、小売業界や飲食業界などで投資抑制の影響を受け減収



© Seiko Epson Corporation 2024

5

- 商業・産業プリンティングは、売上収益が 44億円増収の 691億円、事業利益は 31億円増益の 131億円となりました。
- 商業・産業IJPの完成品は、ラインアップ拡大効果や印刷需要の回復などにより、左のグラフの通り、コーポレートやサイネージ、ラベルなど成長領域を中心に増収となりました。
- プrintヘッド外販は、中央のグラフが示すように、新興国向けを中心に輸出も手掛ける中国の印刷機メーカーへの販売が順調に拡大し、増収となりました。
- 小型プリンター他は、供給制約の解消が進んだ前年同期に対して、当四半期は小売業界や飲食業界などで投資抑制の影響を受けたことで、減収となりました。
- 事業利益は、増収に加えて輸送費などの費用減少により、増益となりました。
- なお社内計画に対しては、プリントヘッド外販が堅調に推移したものの、小型プリンターと商業・産業IJP完成品で投資抑制の影響を受け、売上収益は計画を下回りましたが、事業利益は費用抑制を進めたことなどにより計画並みとなりました。

ビジュアルコミュニケーション	2022年度Q3 実績	2023年度Q3 実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	601	590	-10	+32	-1.8%
セグメント利益	97	97	+0	+18	+0.8%
セグメント利益率	16.2%	16.6%			

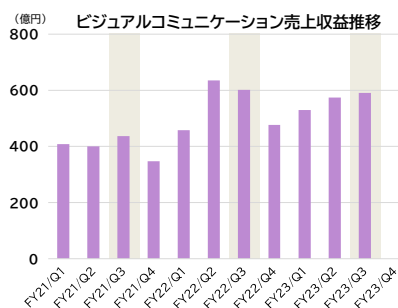
◆ プロジェクターの販売動向*

	2022年度Q3 実績	2023年度Q3 実績
売上収益(円貨)	+40%	-2%
売上収益(現地通貨)	+21%	-7%
販売台数	+4%	-5%

* 社内管理簿に基づく指標
 伸長率は前年同期比

マニュファクチャリング関連・ ウェアラブル	2022年度Q3 実績	2023年度Q3 実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	527	439	-87	+11	-16.6%
マニュファクチャリングソリューションズ	60	52	-7		-13.1%
ウェアラブル機器	93	91	-2		-2.2%
マイクロデバイス他	325	259	-65		-20.2%
PC	56	45	-11		-20.4%
事業間売上収益	-9	-9	+0		-
セグメント利益	76	-15	-92	+2	-
セグメント利益率	14.5%	-3.5%			

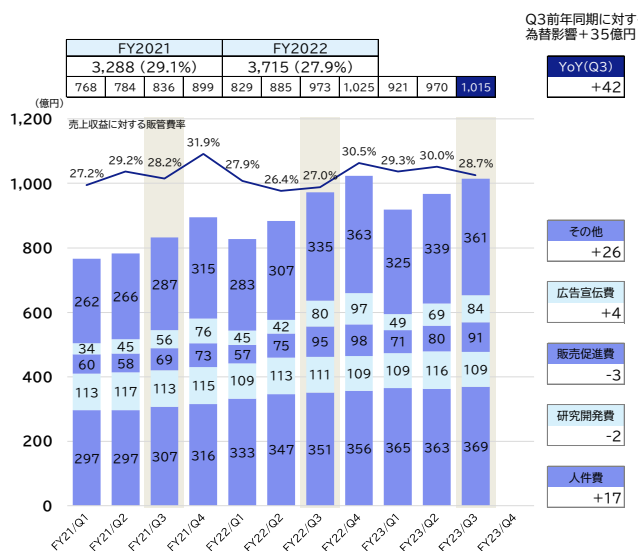
■ ビジュアルコミュニケーション
 ・中国の景気停滞影響や北米教育需要が軟調に推移した影響を受けたものの、アジアや中東などで教育需要が旺盛に推移



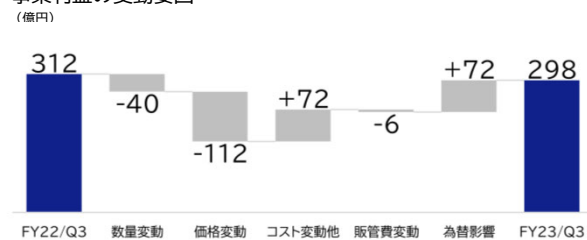
■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル
 ・マニュファクチャリングソリューションズは、顧客の投資抑制が継続し欧州や中国での販売が減少
 ・ウェアラブル機器は、市場環境に大きな変化はなく、売上収益は前年同期並み
 ・マイクロデバイス他は、市場在庫調整の影響を受け販売数量減少

- ビジュアルコミュニケーションは、中国の景気停滞影響や、北米の教育需要が軟調に推移した影響を受けたものの、アジアや中東などで教育需要が旺盛に推移した結果、売上収益は 590億円、セグメント利益は 97億円となり、いずれも前年同期並みとなりました。
- 社内計画に対しては、中国と北米の需要が想定よりも軟調に推移した影響を受け、売上収益、セグメント利益ともに計画を下回りました。
- マニュファクチャリング関連・ウェアラブルの売上収益は、87億円減収の 439億円となりました。
- マニュファクチャリングソリューションズは、顧客の投資抑制が継続し、欧州や中国での販売が減少し、減収となりました。
- ウェアラブル機器は、市場環境に大きな変化はなく、売上収益は前年同期並みとなりました。
- マイクロデバイス他は、水晶デバイスおよび半導体が市場の在庫調整影響を受け、販売数量が減少し、減収となりました。
- セグメント利益は、マイクロデバイスの減収影響などにより、15億円の損失となりました。
- 社内計画に対しては、マイクロデバイスにおける市場在庫調整の回復遅れなどにより、売上収益、セグメント利益ともに計画を下回りました。

販売費及び一般管理費推移



事業利益の変動要因



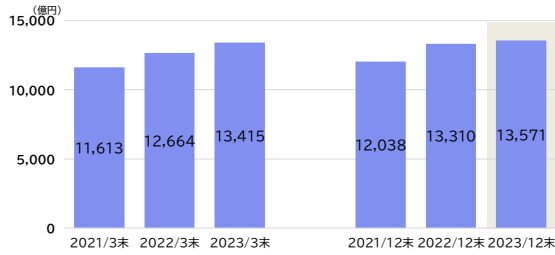
数量変動
+ プリントヘッド、オフィス・ホームIJPなど
- マイクロデバイス、小型プリンター、プロジェクターなど

価格変動
+ ウオッチなど
- オフィス・ホームIJP本体、プロジェクターなど

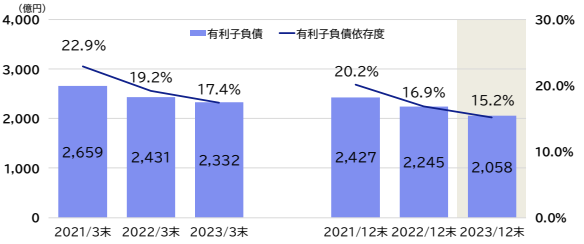
コスト変動他
+ 海運運賃改定効果による輸送費の減少、生産調整による費用減少など
- 在庫削減に伴う影響など

- 販売費および一般管理費推移は、左のグラフの通りです。
- 当四半期は、為替影響により前年同期からは増加していますが、販管費率は28.7%でコントロールしています。
- 大容量インクタンクモデルの認知度向上に向けたプロモーションは、先進国での販売増加に着実に結び付いています。
- このように効果検証を実施しながら、環境変化に応じた機動的かつ効率的な費用執行に取り組んでいきます。
- 事業利益の変動要因を、右のグラフでご説明します。
- 数量では、プリントヘッドやオフィス・ホームIJPがプラスとなったものの、多くの製品でマイナスとなりました。
- 価格は、オフィス・ホームIJP本体などでマイナスとなりました。
- コスト変動他は、在庫削減に伴うマイナス影響があったものの、海運運賃改定効果による輸送費の減少や生産調整による費用の減少が大きく上回りました。

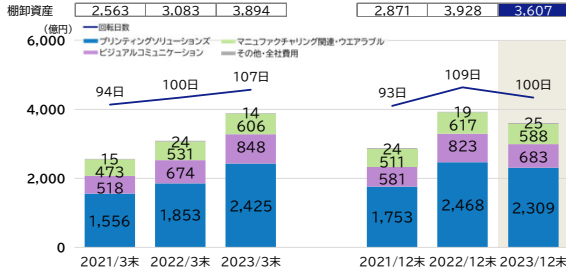
資産合計



有利子負債・有利子負債依存度



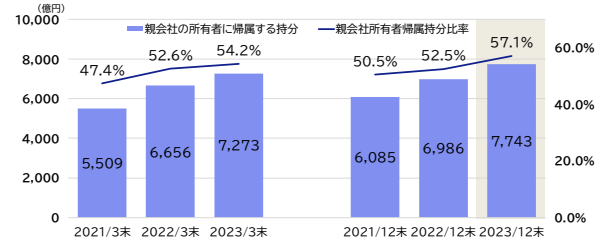
棚卸資産・回転日数



ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



*回転日数(3月末)＝連結会計期間末棚卸資産残高/連結会計期間末直前12ヶ月間の1日当たり売上収益
*回転日数(9月末)＝連結会計期間末棚卸資産残高/連結会計期間末直前9ヶ月間の1日当たり売上収益

- 財政状態計算書の主要項目は、ご覧のとおりです。
- 棚卸資産は、生産調整や部品調達の抑制などにより、在庫削減が進みました。引き続き、在庫水準の適正化に努めていきます。

- 第3四半期実績
- 2023年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

	2022年度		2023年度		増減額/増減率			
	実績	%	前回 (10/27)予想	%	今回 (2/2)予想	%	対前期	対10/27予想
売上収益 (億円)	13,303		13,600		13,300		-3 -0.0%	-300 -2.2%
事業利益	951	7.1%	800	5.9%	750	5.6%	-201 -21.1%	-50 -6.3%
営業利益	970	7.3%	800	5.9%	680	5.1%	-290 -29.9%	-120 -15.0%
税引前利益	1,037	7.8%	910	6.7%	770	5.8%	-267 -25.8%	-140 -15.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	750	5.6%	650	4.8%	550	4.1%	-200 -26.7%	-100 -15.4%
EPS*1(円)	220.75		196.01		165.85			
為替レート (円、指数)	USD ¥135.44		¥145.00		¥144.00			
その他通貨*2	EUR ¥140.90		¥156.00		¥156.00			
	100		107		107			

- 営業利益・税引前利益
- ・ 為替差損を反映
- ・ 英国現地法人の年金バイアウトに向けた関連費用約50億円を見込む(その他の営業費用)

*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益
*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示
*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額(億円)、その他通貨は1%の円高による年間影響額(億円)

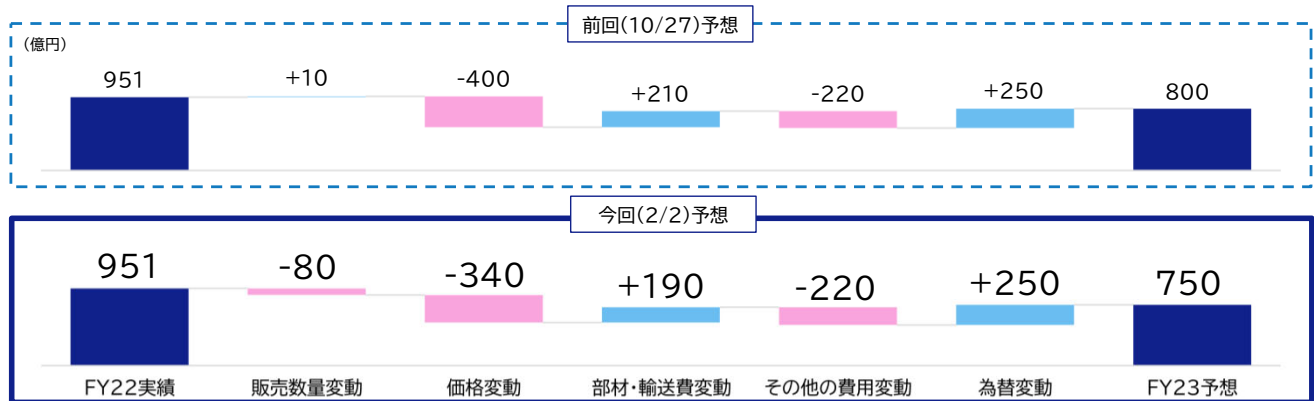
為替感応度*3 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	為替影響額 (億円)
売上収益	-30	-15	-45	+690
事業利益	+5	-9	-22	+250

第4四半期の 為替前提(円)	USD	145.00
	EUR	159.00

- 2023年度の通期業績予想は、ご覧のとおりです。
- 世界経済の停滞影響を踏まえ、売上収益は1兆3,300億円、事業利益は750億円とします。
- また、営業利益以下には、第3四半期で発生した為替差損を反映したことに加え、その他の営業費用に英国現地法人の年金バイアウトに向けた関連費用約50億円を見込んだ結果、当期利益は550億円を予想します。
- なお、第4四半期の為替前提は、直近の状況を踏まえ、USD 145円、EUR 159円としました。

事業利益の増減要因(前回予想からの変化)

- 販売数量は主にマイクロデバイスや小型プリンターで前回予想から減少
- SOHO・ホームIJPを中心に前回予想よりも価格低下を抑制
- 部材・輸送費にはQ3実績と最新予測を反映



© Seiko Epson Corporation 2024

11

- 前回予想からの前提変化について、事業利益の増減要因を基にご説明します。
- 販売数量が主にマイクロデバイスや小型プリンターで、前回予想から減少しました。
- 一方、価格はSOHO・ホームIJPを中心に前回予想よりも価格低下の抑制を見込みます。
- 部材・輸送費は、第3四半期までの実績と最新の予測を踏まえ、見直しました。
- 「その他の費用」は前回予想から変更はありません。在庫削減を進めることに伴う利益のマイナス影響が増加しますが、生産調整などに伴う費用の減少や、一層の費用抑制も織り込んでいます。なお、滞留在庫に対する評価減の戻し入れは、概ね計画通りです。

プリンティングソリューションズ	2022年度	2023年度 10/27予想	2023年度 2/2予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対10/27 予想
売上収益	9,023	9,400	9,270	+246	+2.7%	-130
セグメント利益	893	980	1,020	+126	+14.2%	+40
セグメント利益率	9.9%	10.4%	11.0%			

オフィス・ホームプリンティング	2022年度	2023年度 10/27予想	2023年度 2/2予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対10/27 予想
売上収益	6,534	6,630	6,600	+65	+1.0%	-30
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP) ^{*1}	5,199	5,090	5,150	-49	-0.9%	+60
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP) ^{*2}	617	830	760	+142	+23.0%	-70
その他 ^{*3}	717	710	690	-27	-3.9%	-20
事業利益	546	540	610	+63	+11.7%	+70
事業利益率	8.4%	8.1%	9.2%			

*1:I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど *2:オフィス向けI/Cモデル・RIPS-LJ本体、インクなど *3:スキャナー、SDDM、LFP、拡張オフィス製機など

商業・産業プリンティング	2022年度	2023年度 10/27予想	2023年度 2/2予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対10/27 予想
売上収益	2,489	2,770	2,670	+180	+7.3%	-100
商業・産業IJP	1,681	1,970	1,930	+248	+14.8%	-40
小型プリンター他	807	800	740	-67	-8.4%	-60
事業利益	346	440	410	+63	+18.2%	-30
事業利益率	13.9%	15.9%	15.4%			

■ オフィス・ホームプリンティング

- SOHO・ホームIJPは、本体販売数量を引き下げた一方、価格低下抑制。大容量インクボトルの堅調な販売を反映
- オフィス共有IJPは、インクは計画通りの販売を見込むが、本体は最新の状況を踏まえ販売数量を引き下げ

◆ 販売動向 (社内管理値に基づく指標)		FY22	FY23	FY23
		実績	10/27予想	2/2予想
オフィス・ホームIJP 本体販売数量	伸長率	+2%	-4%	-6%
	約、万台	1,700	1,625	1,600
内 SOHO・ホーム向け 大容量インクタンクモデル		1,240	1,250	1,240
内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル		430	340	330
内 オフィス共有IJP		30	35	30
オフィス・ホームIJP インク売上収益伸長率	(円貨)	+3%	+4%	+5%
	(現地通貨)	-7%		

■ 商業・産業プリンティング

- プリントヘッド外販が中国向けを中心に堅調に推移
- 小型プリンターと商業・産業IJP完成品で想定以上の投資抑制影響

- ▶ 続いて、事業セグメント別にご説明します。
- ▶ プリンティングソリューションズは、
前回予想から売上収益を下方修正する一方、セグメント利益を上方修正します。
- ▶ オフィス・ホームプリンティングにおけるSOHO・ホームIJPは、
前回予想から本体販売数量を引き下げた一方、価格低下の抑制を見込みます。
加えて、大容量インクボトルの堅調な販売を反映することで、売上収益を
上方修正します。
- ▶ オフィス共有IJPは、
インクは計画通りの販売を見込みますが、本体は最新の状況を踏まえ
販売数量を引き下げのため、売上収益を見直します。
- ▶ これらを踏まえ、オフィス・ホームプリンティングの売上収益は下方修正する
ものの、費用削減なども反映した結果、事業利益を上方修正します。
- ▶ 商業・産業プリンティングは、
プリントヘッド外販が中国向けを中心に堅調に推移するものの、
小型プリンターと商業・産業IJP完成品が受けている想定以上の投資抑制
影響を反映しました。
- ▶ なお、前年度に対しては、
SOHO・ホームIJP本体で価格低下を小幅に抑制できていることや、
オフィス共有IJPでインクジェットならではの価値が着実に浸透していること
やインク販売の伸長により、オフィス・ホームプリンティングは増収増益を
見込みます。
- ▶ 商業・産業プリンティングは、顧客のアナログ印刷からデジタル印刷への
シフトを幅広いラインアップにより捉え、商業・産業IJP完成品や
プリントヘッド外販ビジネスが伸長し、増収増益となります。

ビジュアルコミュニケーション	2022年度	2023年度 10/27予想	2023年度 2/2予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対10/27 予想
売上収益	2,168	2,270	2,210	+41	+1.9%	-60
セグメント利益	348	380	340	-8	-2.5%	-40
セグメント利益率	16.1%	16.7%	15.4%			

■ ビジュアルコミュニケーション
 ・ 軟調な北米教育向けや中国の需要に加え、
 モデルミックス変化

◆ プロジェクターの販売動向*

	2022年度	2023年度 10/27予想	2023年度 2/2予想
販売台数(約、万台)	190	185	185
伸長率	+10%	-1%	-1%

* 社内管理値に基づく指標
 伸長率は前年同期比

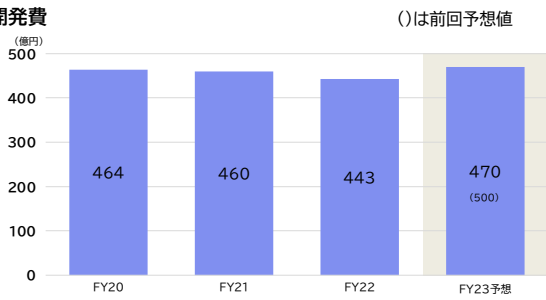
マニファクチャリング関連・ ウェアラブル	2022年度	2023年度 10/27予想	2023年度 2/2予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対10/27 予想
売上収益	2,154	1,950	1,840	-314	-14.6%	-110
マニファクチャリングソリューションズ	305	270	250	-55	-18.1%	-20
ウェアラブル機器	358	360	360	+1	+0.3%	-
マイクロデバイス他	1,307	1,130	1,040	-267	-20.5%	-90
PC	219	220	220	+0	+0.4%	-
事業間売上収益	-36	-30	-30	+6	-	-
セグメント利益	283	60	0	-283	-	-60
セグメント利益率	13.1%	3.1%	0.0%			

■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル
 ・ マイクロデバイス他は、
 市場在庫調整が長引き販売数量減少
 ・ マニファクチャリングソリューションズは、
 電子機器市場などが低調

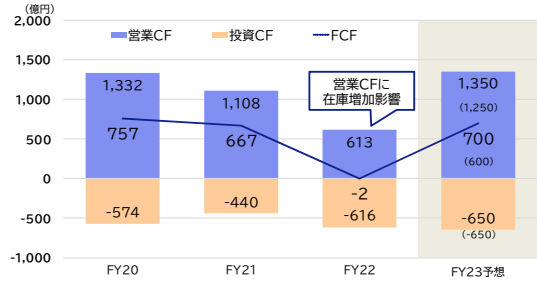
- ビジュアルコミュニケーションは、
 軟調な北米教育向けや中国の需要に加え、モデルミックスの変化を反映した
 ことで、売上収益、セグメント利益を下方修正します。
- 前年度に対しては、引き続き、高い市場シェアにより、
 安定的に利益を創出しています。
- マニファクチャリング関連・ウェアラブルも、
 売上収益、セグメント利益ともに見直します。
- マイクロデバイス他で、
 市場の在庫調整が想定以上に長引いていることを踏まえ、販売数量の減少を
 織り込みました。
- マニファクチャリングソリューションズは、
 低調な電子機器市場などの影響を織り込みました。
- 前年度に対しては、
 マイクロデバイスやマニファクチャリングソリューションズの市況悪化影響を
 受けるものの、高付加価値製品の開発など、先を見据えた取り組みを着実に
 実施していきます。

2023年度 通期業績予想 | 主要費用、フリー・キャッシュ・フロー、経営指標 EPSON

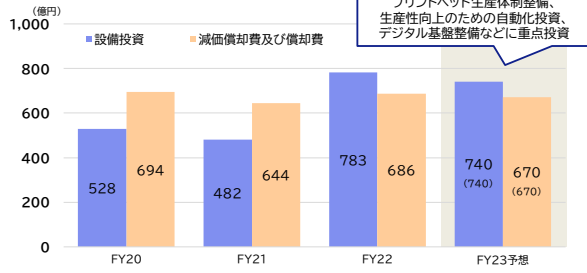
研究開発費



フリー・キャッシュ・フロー



設備投資・減価償却費及び償却費



主要経営指標	FY20 実績	FY21 実績	FY22 実績	FY23 予想	FY25 目標
為替レート:USD/円	106.01	112.37	135.44	144.00	-
為替レート:EUR/円	123.67	130.55	140.90	156.00	-
売上収益 (億円)	9,959	11,289	13,303	13,300	-
事業利益 (億円)	616	896	951	750	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)	309	922	750	550	-
ROS ^{*1}	6.2	7.9	7.1	5.6%	10%以上
ROA ^{*2}	5.6	7.4	7.3	5.6%	-
ROE ^{*3}	5.9	15.2	10.8	7.4%	13%以上
ROIC ^{*4}	5.6	7.3	7.1	5.5%	11%以上

*1 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益
 *2 資産合計事業利益率=事業利益/期首・期末資産合計平均
 *3 親会社所有者帰属持分当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均
 *4 投下資本利益率=税引後事業利益/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)
 税引後事業利益は、事業利益から実効税率相当額を控除した金額
 親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

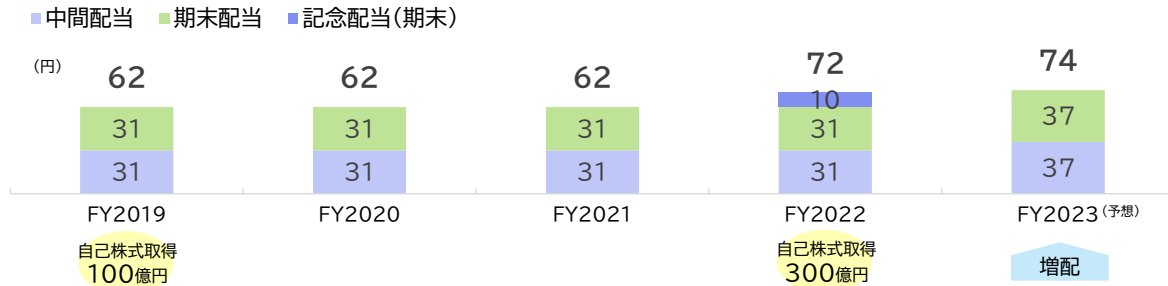
- 研究開発費は前回予想から変更し 470億円とします。設備投資、減価償却費に変更はありません。
- 営業キャッシュ・フローおよびフリー・キャッシュ・フローは、在庫削減が着実に進んでいることも踏まえ、予想を引き上げました。
- 主要経営指標はご覧のとおりです。

■ 基本方針

- 成長戦略に基づく投資を行ったうえで、積極的な利益還元に取り組む
 - ✓ 配当：中期的には連結配当性向* 40%程度を目標に、安定的な配当を継続
*事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出
 - ✓ 自己株式取得：株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に実施

■ 配当

- 2022年度の1株当たり年間配当は、記念配当10円を加えた72円
- 2023年度の1株当たり年間配当予想は、普通配当が12円増配となる**74円**



- 株主還元についてご説明します。
- 成長戦略に基づく投資を行ったうえで、安定的な配当と機動的な自己株式取得により、積極的な利益還元に取り組むことを基本方針としています。
- 2023年度の1株当たり年間配当は、前回予想通り、増配となる 74円です。

- 第3四半期実績
- 2023年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

グローバル全拠点*1の使用電力を100%再生エネルギー化達成

環境ビジョン
2050「カーボンマイナス」
「地下資源*2消費ゼロ」
達成に向けて

2021年3月 グローバルでの再エネ化達成を宣言

2021年11月 国内全拠点で達成

2023年12月 グローバル全拠点*1で達成

年間およそ40万トン*3ある電力起因のCO₂がゼロになる見込み

*1:一部、販売拠点などの電力量が特定できない賃借物件は除く

*2:原油、金属などの枯渇性資源

*3:エプソングループの年間使用電力量が約876GWh(2022年度実績)として試算

- 当四半期のトピックスについてご紹介します。
- エプソンは、「環境ビジョン2050」において、「カーボンマイナス」および「地下資源消費ゼロ」の達成を目指しています。
- 脱炭素の目標達成に向けた重要な施策の一つとして進めていた、グローバル全拠点の使用電力100%再生エネルギー化を、昨年12月に完了しました。

一般財団法人 省エネルギーセンター主催
2023年度 省エネ大賞 製品・ビジネスモデル部門で
LIJ複合機が「資源エネルギー庁長官賞」を受賞



受賞製品: WorkForce Enterprise LM-C6000・LM-C5000・LM-C4000

低消費電力設計、レイアウト・設置場所を選ばないコンパクトデザインを評価

- 環境性能を特長とする製品の投入も、着実に進んでいます。
- このたび、オフィスの環境負荷低減とお客様の利便性向上を両立するラインインクジェット複合機が、2023年度省エネ大賞において「資源エネルギー庁長官賞」を受賞しました。
- インク吐出に熱を使わないインクジェットプリンターだからこそできる低消費電力設計のほか、コンパクト設計による設置面積の削減などが評価されました。

一般社団法人 日本取締役協会主催
「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー[®]2023」
Winner Companyを受賞



透明・公正なコーポレートガバナンスの体制・運営を評価

- 最後になりますが、「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー2023」において、Winner Companyに選出されました。
- 今後も、このような栄えある賞の名に恥じぬよう、経営陣が先頭に立ち、エプソングループ一丸となって、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図ってまいります。

EPSON

補足資料

ESG
インデックス
組み入れ・
格付け

- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- ISS ESGのESG コーポレートレーティング評価「プライム」
- CDP企業調査2022「Aリスト」企業 (分野:気候変動)
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「ゴールド」
- 日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」

ESG
関連表彰・
銘柄選定
など

- 海外主力工場でRBA*1監査の最高位プラチナ認証取得(インドネシア・タイ)
- 健康経営銘柄2023*2 :2023年3月
- 24回グリーン購入大賞「大賞・経済産業大臣賞」:2023年12月
- 2023年度省エネ大賞(製品・ビジネスモデル部門)「資源エネルギー庁長官賞」:2023年12月
- コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®2023「Winner Company」:2024年1月
- 日経225 :2017年から選定

*1 The Responsible Business Alliance、世界最大級のCSR推進企業同盟
*2 健康経営の目的・体制 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

GPIFが採用する
ESG国内指数6件全てに選定

FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPX カーボン エフィシエント 指数

MORNINGSTAR GenDi.J Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

(億円)	2022年度		2023年度		対前年同期	
	Q3累計実績	%	Q3累計実績	%	増減額	増減率
売上収益	9,944		9,921		-23	-0.2%
事業利益	807	8.1%	543	5.5%	-264	-32.7%
営業利益	825	8.3%	516	5.2%	-308	-37.4%
税引前利益	882	8.9%	596	6.0%	-286	-32.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	614	6.2%	424	4.3%	-189	-30.9%
EPS* ¹ (円)	179.35		128.08			
為替レート (円、指数)	USD	¥136.49	USD	¥143.15		
	EUR	¥140.54	EUR	¥155.19		
	その他通貨* ²	100	その他通貨* ²	106		

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	総計
売上収益	+146	+158	+132	+437
事業利益	-28	+98	+84	+155

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示

2023年度 第3四半期累計実績 | プリンティングソリューションズ EPSON

(億円)

プリンティングソリューションズ	2022年度 Q3累計	2023年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	6,622	6,883	+261	+316	+3.9%
セグメント利益	670	743	+72	+105	+10.9%
セグメント利益率	10.1%	10.8%			

オフィス・ホームプリンティング	2022年度 Q3累計	2023年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	4,787	4,887	+99	+230	+2.1%
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)*1	3,837	3,825	-11		-0.3%
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)*2	421	529	+107		+25.5%
その他*3	528	531	+3		+0.6%
事業利益	439	426	-12	+64	-2.9%
事業利益率	9.2%	8.7%			

*1:L110Cモデル・大容量インクタンクモデル単体、インクなど *2:オフィス向けL110Cモデル・RIPS-L1100単体、インクなど *3:スキャナー、SIDM、LIP、拡張オフィス機能機など

商業・産業プリンティング	2022年度 Q3累計	2023年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,835	1,997	+162	+86	+8.8%
商業・産業IJP	1,260	1,451	+190		+15.1%
小型プリンター他	574	545	-28		-5.0%
事業利益	231	316	+85	+41	+36.9%
事業利益率	12.6%	15.9%			

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2022年度 Q3累計	2023年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,693	1,692	-0	+85	-0.0%
セグメント利益	288	244	-43	+40	-15.1%
セグメント利益率	17.0%	14.5%			

(億円)

マニュファクチャリング関連・ ウェアラブル	2022年度 Q3累計	2023年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,659	1,366	-293	+37	-17.7%
マニュファクチャリングソリューションズ	234	178	-56		-24.1%
ウェアラブル機器	289	271	-18		-6.3%
マイクロデバイス他	1,011	800	-211		-20.9%
PC	153	142	-10		-6.7%
事業間売上収益	-30	-27	+2		-
セグメント利益	256	2	-254	+9	-99.0%
セグメント利益率	15.5%	0.2%			

主要製品の販売動向

			FY2022 Q1実績	FY2022 Q2実績	FY2022 Q3実績	FY2022 Q4実績	FY2022 通期 実績	FY2023 Q1実績	FY2023 Q2実績	FY2023 Q3実績	FY2023 通期 予想	
*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比			USD EUR	129.64 138.11	138.30 139.28	141.55 144.23	132.28 141.97	135.44 140.90	137.18 149.40	144.47 157.20	147.78 158.98	144.00 156.00
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+9%	+31%	+42%	+26%	+27%	+1%	+3%	-4%	-1%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-4%	+12%	+23%	+15%	+12%	-3%	-2%	-9%	-
	内	本体数量	伸長率	-19%	-1%	+20%	+10%	+2%	-7%	-0%	-7%	-6%
		大容量インクタンクモデル	万台					約1,700				約1,600
		SOHO・ホーム向けI/Cモデル	万台					約1,240				約1,240
		オフィス共有IJP	万台					約430				約330
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク=(本体+インク)	構成比					36%				37%
		売上収益(円貨)	伸長率	+3%	+3%	+2%	+6%	+3%	+9%	+5%	+6%	+5%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-6%	-9%	-8%	-2%	-7%	+5%	-1%	+1%	-
		本体数量	万台					約30				約30
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+13%	+60%	+40%	+40%	+38%	+17%	-10%	-2%	+2%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+0%	+37%	+21%	+28%	+21%	+12%	-15%	-7%	-
	本体数量	伸長率	-3%	+22%	+4%	+19%	+10%	+4%	-10%	-5%	-1%	
	本体数量	万台					約190				約185	

財務データ(2022年度・2023年度)

EPSON

		(億円)									
		FY2022 Q1 実績	FY2022 Q2 実績	FY2022 Q3 実績	FY2022 Q4 実績	FY2022 通期 実績	FY2023 Q1 実績	FY2023 Q2 実績	FY2023 Q3 実績	FY2023 Q4 実績	FY2023 通期 予想
為替レート	USD	129.64	138.30	141.55	132.28	135.44	137.18	144.47	147.78		144.00
	EUR	138.11	139.28	144.23	141.97	140.90	149.40	157.20	158.98		156.00
(円)											
プリンティングソリューションズ	売上収益	1,976	2,155	2,490	2,401	9,023	2,151	2,221	2,510		9,270
	セグメント利益	210	186	273	222	893	223	150	369		1,020
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,431	1,511	1,844	1,746	6,534	1,498	1,569	1,819		6,600
	事業利益	164	101	173	107	546	126	62	237		610
商業・産業プリンティング	売上収益	545	643	646	653	2,489	653	652	691		2,670
	事業利益	46	85	100	115	346	97	87	131		410
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	456	635	601	475	2,168	529	573	590		2,210
	セグメント利益	64	127	97	60	348	67	79	97		340
マニファクチャリング関連・ウエアラブル	売上収益	560	572	527	495	2,154	473	452	439		1,840
	セグメント利益	86	94	76	26	283	7	10	-15		0
全社費用・その他、調整額	売上収益	-14	-10	-6	-12	-43	-5	-10	-5		-20
	セグメント利益	-134	-139	-134	-165	-573	-143	-151	-153		-610
連結合計	売上収益	2,978	3,352	3,612	3,359	13,303	3,148	3,236	3,535		13,300
	事業利益	226	268	312	143	951	155	88	298		750
	ROS	7.6%	8.0%	8.6%	4.3%	7.1%	5.0%	2.7%	8.5%		5.6%
研究開発費		109	113	111	109	443	109	116	109		470
設備投資	プリンティングソリューションズ	78	92	106	196	474	67	64	167		450
	ビジュアルコミュニケーション	14	13	11	34	73	12	9	20		70
	マニファクチャリング関連・ウエアラブル	17	30	33	67	149	16	22	34		140
	全社費用・その他	17	17	25	27	87	9	20	19		80
減価償却費	プリンティングソリューションズ	101	104	106	102	413	103	103	105		420
	ビジュアルコミュニケーション	27	26	25	23	102	24	24	23		90
	マニファクチャリング関連・ウエアラブル	23	24	25	25	99	25	25	26		100
	全社費用・その他	18	17	17	17	70	17	17	17		60
営業CF		-123	333	149	253	613	273	341	523		1,350
FCF		-309	186	23	96	-2	63	235	394		700

海外売上収益

為替レート(円)	USD	109.46	110.08	113.71	116.21	129.64	138.30	141.55	132.28	137.18	144.47	147.78
	EUR	131.91	129.77	130.08	130.45	138.11	139.28	144.23	141.97	149.40	157.20	158.98

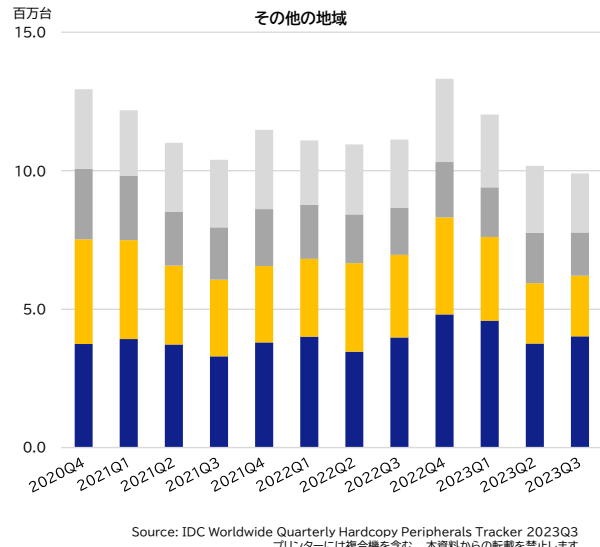
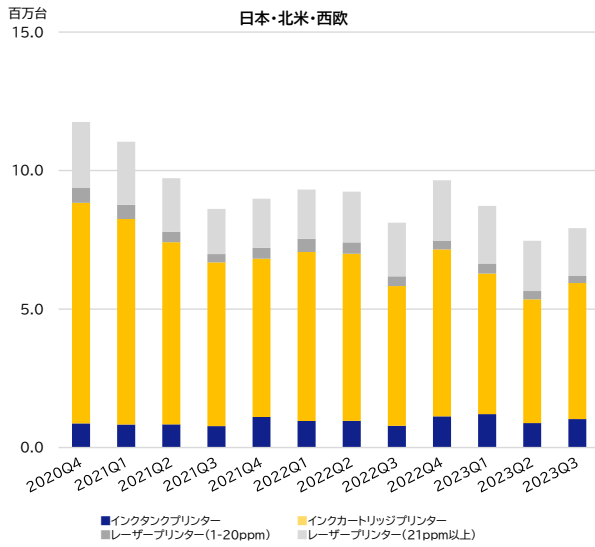
売上収益(億円)	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	対前年同期
米州	852	801	810	862	1,000	1,115	1,143	1,110	1,069	1,062	1,080	-62
欧州	583	571	623	617	573	683	785	780	621	708	842	+56
アジア・オセアニア	868	789	844	772	884	1,005	1,009	891	928	939	976	-33
海外売上収益計	2,304	2,162	2,278	2,252	2,457	2,804	2,938	2,782	2,619	2,710	2,898	-39
連結合計	2,821	2,684	2,961	2,821	2,978	3,352	3,612	3,359	3,148	3,236	3,535	-77

構成比	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3
米州	30.2%	29.9%	27.4%	30.6%	33.6%	33.3%	31.6%	33.1%	34.0%	32.8%	30.6%
欧州	20.7%	21.3%	21.0%	21.9%	19.2%	20.4%	21.8%	23.2%	19.7%	21.9%	23.8%
アジア・オセアニア	30.8%	29.4%	28.5%	27.4%	29.7%	30.0%	27.9%	26.5%	29.5%	29.0%	27.6%
海外売上収益計	81.7%	80.6%	76.9%	79.8%	82.5%	83.7%	81.3%	82.8%	83.2%	83.7%	82.0%

従業員数

期末従業員数(人)	2021/6末	2021/9末	2021/12末	2022/3末	2022/6末	2022/9末	2022/12末	2023/3末	2023/6末	2023/9末	2023/12末	対前年同期
国内	19,827	19,805	19,788	19,705	20,128	20,131	20,174	20,124	20,633	20,535	20,323	+149
海外	60,813	60,000	59,917	57,937	59,887	62,742	64,308	59,782	57,932	55,764	54,649	-9,659
連結合計	80,640	79,805	79,705	77,642	80,015	82,873	84,482	79,906	78,565	76,299	74,972	-9,510

A4サイズプリンターのタイプ別市場推移(暦年)



イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニュファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニュファクチャリング関連・ウェアラブル			
事業 ・ 主要製品	オフィス・ホームプリンティング オフィス・ホームIJP SOHO・ホーム 大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル オフィス共有 大容量インクパックモデル (RIPS) 高速ラインインクジェット複合機 (L1J) オフィス向けインクカートリッジモデル PaperLab SIDM スキャナー レーザープリンター	商業・産業プリンティング 商業・産業IJP 完成品ビジネス フォト コーポレート サイナー ラベルプリンター テキスタイル ラベル印刷機 プリントヘッド外販ビジネス IJプリントヘッド、インク 小型プリンター他 小型プリンター 小型ラベルプリンター	プロジェクター 高光束 超短焦点 スタンダード ホーム・スマート HMD 	マニュファクチャリングソリューションズ ロボット スカラ 6軸 オプション 小型射出成形機 	ウェアラブル機器 Orient Star Orient ムーブメント セイコービジネス 	マイクロデバイス他 マイクロデバイス 水晶デバイス 半導体 エプソンダイレクトPC 微細合金粉末 表面処理加工 	PC

投資家情報



- IRライブラリ
 - 経営・事業戦略説明会 <https://corporate.epson/ja/investors/publications/presentations.html>
 - 統合レポート2023 <https://corporate.epson/ja/investors/publications/integrated-report.html>
- 株主還元 <https://corporate.epson/ja/investors/information/stock-dividends.html>

- パーパス <https://corporate.epson/ja/philosophy/purpose/>
- 長期ビジョン <https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/>

サステナビリティ



- サステナビリティ経営 <https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/>
- 環境 <https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/>
- 人材 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/>
- ESGデータ <https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/>

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	製品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの製品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
スマートプロジェクター	500lm以上で、独立してネットワーク接続が可能かつ動画配信サービス等が利用可能なプロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。なお、業績などに影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

■ 本説明資料における表示方法

- 数値:表示単位未満を切り捨て
- 比率:円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度:断りが無い限り、会計年度を示す

EPSON